

展示室1 工芸の魅力

美術作品の中では最も身近にある工芸ですが、近年、意外と我々の生活からは遠のいています。この展覧会では、誰もが親しめる工芸の魅力を紹介します。

作家名	作品名	制作年	技法、素材
五代 伊藤 赤水	無名異練上鉢	1988年	陶器
三浦 小平二	焼きしめ花瓶「マサイ」	1970年	陶器
三浦 小平二	青磁鉢	1978年	青磁
五代 伊藤 赤水	無名異練上花紋壺	2013年	陶器
三浦 小平	獅子舞大花瓶	1954年	陶器
齋藤 三郎	色絵唐草窓絵椿模様大壺	1977年	陶器
齋藤 三郎	白磁連弁文陰刻蓋付壺	1977年	磁器
齋藤 三郎	辰砂陰刻牡丹花瓶	1948年	陶器
齋藤 三郎	染付竹林文壺	1970年代	磁器
齋藤 三郎	鉄絵草文輪花皿(6客)	1955-59年	陶器
堀 浄親	兜釜	1970年	鋳金、鉄
三代 本間 琢斎	蠟型鋳銅花鳥文花瓶	1900年	鋳金、銅
市橋 敏雄	白銅置物・萌生	1977年	鋳金、白銅
佐々木 象堂	蠟型鋳銅獣装耳小花入	1959年	蠟型鋳金、青銅
小川 英鳳	銀製・波・花瓶	1969年	彫金、銀
原 直樹	鋳銅花瓶・銘花苑	1954年	鋳金、銅
原 正樹	ブラスのトルソー	1988年	鋳金、真鍮
二代 宮田 藍堂	蠟型鋳銅ひねり一瞬置物	1976年	蠟型鋳金、青銅
宮田 脩平	トルソ	1975年	鋳金、ステンレス
岩田 藤七	花器	1960年	ガラス
岩田 久利	花器	1985年	ガラス
高井 進	青瓷線文壺	2002年	青磁
鶴巻 三郎	早春賦	1970年	紙塑、和紙
細野 實	雲の標	2002年	木彫、樺
宮田 宏平(三代藍堂)	蠟型鋳金・終りのない物語「恋秤」	1983年	蠟型鋳金、金、銀、白銅、カラーアクリル
宮田 宏平(三代藍堂)	布留(なら)の佛たち	1966年	蠟型鋳金、アルミニウム
宮田 亮平	ゲルからの移行Ⅲ	1979年	鍛金、鉄、アクリル
伊藤 豊	陶板画・雪山松籟	1973年	陶器
亀倉 蒲舟	磨崖	1973年	彫金、銅
亀倉 康之	枯野	1978年	打ち出し、アルミニウム

本間 一秋	冬夏青々	1977年	鳳尾竹
原 益夫	エンドレス	1997年	鍍金、銅
内田 宗寛	黒塗大棗	1974年	漆工、木地、漆
初代 本間 琢斎	蠟型鍍銅羅漢鈕香炉	明治初期	蠟型鍍金、銅
柴田 武次	鍛鉄銀象嵌波濤文香炉	昭和10年代	鍛金、鉄
石山 恵美子	蒼Ⅱ	1981年	七宝
広川 青五	89白い空間	1989年	染織、ピロウド地
香取 秀眞	斑紫銅鍍銅壺	制作年不明	鍍金、銅
津田 信夫	鍍銅壺・波光連如	1942年	鍍金、銅
佐々木 象堂	鍍銅色絵鸚哥置物	1940年	蠟型鍍金、青銅
目黒 順三郎	彫漆小笹文箱	1988年	彫漆、漆
堀 政晴	鍍分花器「彩」	1997年	鍍金、銅、合金
玉川 宣夫	木目金花瓶	2009年	鍛金、木目金、銅、銀、赤銅
亀倉 蒲舟	黄銅鷲文飾箱	1937年	彫金、黄銅

展示室2 近代美術館の名品

当館の所蔵作品の中から、名品を選び紹介します。

作家名	作品名	制作年	技法、素材
小山 正太郎	仙台の桜	1881年	油彩、キャンバス
浅井 忠	農人	1890年	油彩、キャンバス
高村 真夫	ラバクール村	1915年	油彩、キャンバス
岸田 劉生	冬枯れの道路(原宿附近写生)	1916年	油彩、キャンバス
中村 彝	洲崎義郎氏の肖像	1919年	油彩、キャンバス
前田 寛治	赤い帽子の女	1925年	油彩、キャンバス
牧野 虎雄	サンルーム	1929年	油彩、キャンバス
牧野 虎雄	春去らんとす	1925年	油彩、キャンバス
佐伯 祐三	広告塔	1927年	油彩、キャンバス
佐伯 祐三	パンテオン寺院	1928年	油彩、キャンバス
野間 仁根	花園の友人	1936年	油彩、キャンバス
安宅 庸雄	鸚鵡と少女	1936年	油彩、キャンバス
北川 民次	大地	1939年	油彩、キャンバス
竹谷 富士雄	壺づくりの女	1940年	油彩、キャンバス

梅原 龍三郎	紫禁城	1942年	油彩、キャンバス
安井 曾太郎	読書	1942年	油彩、キャンバス
佐藤 哲三	農婦	1940年	油彩、キャンバス
海老原 喜之助	燃える	1957年	油彩、キャンバス
斎藤 義重	赤の跡	制作年不明	油彩、板
桂 ゆき	異邦人	1961年	コラージュ、油彩、紙、キャンバス
川端 実	作品	1963年	油彩、キャンバス
木村 忠太	桜樹のある村	1984年	油彩、キャンバス
柳原 義達	道標 鳩	1974年	ブロンズ (寄託作品)
ジョルジュ・ルオー	クラウン	制作年不明	油彩 (寄託作品)
コンスタン・トロワイヨン	りんごの取り入れ	1840年頃	油彩、キャンバス
テオドール・ルソー	ボートに乗る人のいる夏の風景	1845年頃	油彩、キャンバス
アントニオ・フォンタネージ	ブジェイ高原	1858-60年頃	油彩、キャンバス
シャルル＝フランソワ・ドービニー	オワーズ川 イル・ド・ヴォーの夜明け	1869年	油彩、キャンバス
カミーユ・コロー	ビブリ	1874-75年頃	油彩、キャンバス
ポール・セザンヌ	水浴	1875-77	油彩、キャンバス (寄託作品)
カミーユ・ピサロ	ルヴシエンヌの画家の家	1871年	油彩、キャンバス (寄託作品)
クロード・モネ	コロンブの平原、霜	1873年	油彩、キャンバス
ジュリアン・デュプレ	羊飼い	1883年頃	油彩、キャンバス
モーリス・ドニ	夕映えの中のマルト	1892年	油彩、キャンバス
モーリス・ドニ	ベンガル虎 バッカス祭	1920年	油彩、キャンバス
オーギュスト・ロダン	考える人	1880年	ブロンズ
ジョルジュ・ルオー	晩秋 No.3	1948-52年	油彩、板

回廊

竹田 康宏	Under the leaves	1994年	FRP
-------	------------------	-------	-----

展示室3 裸婦一同

美術の歴史上無くてはならない裸婦の存在や意味とともに、裸婦をめぐる作品をあらためて御覧ください。

作家名	作品名	制作年	技法、素材
オーギュスト・ロダン	疲れ	1887年	大理石
アルフレッド・ブーシェ	朝顔	1892年頃	大理石
北村 四海	空想に耽り居る女	1916年	大理石
高村 真夫	裸婦	1921年	油彩、キャンバス
佐藤 哲三郎	裸婦	1930年	油彩、キャンバス
桑重 儀一	浴する女	制作年不明	油彩、キャンバス
満谷 国四郎	裸婦	1923年	油彩、キャンバス
矢部 友衛	習作	1920年	油彩、キャンバス
坂田 一男	椅子による裸婦	1924年	油彩、キャンバス
小出 檜重	ソファの裸体B	1930年	油彩、キャンバス
藤田 嗣治	私の夢	1947年	油彩、キャンバス
竹谷 富士雄	廃墟のヴィナス	1947年	油彩、キャンバス
千野 茂	裸婦	1957年	ブロンズ
柳原 義達	坐る	1960年	ブロンズ
小林 哲夫	夢妄	1976年頃	油彩、キャンバス
倉石 隆	イヴ	1982年	油彩、キャンバス
北村 正信	裸婦立像	制作年不明	大理石